

9月は認知症月間 ～共に生き ともに歩もう 認知症～

1994年に国際アルツハイマー病協会と世界保健機構(WHO)が共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、それに合わせて日本では9月が「認知症月間」として、全国各地で認知症についての関心と理解を深める行事が行われています。さまざまな啓発活動や展示が行われ、認知症の人々と共生する社会の実現に向けた一歩を踏み出すきっかけとなっています。

■問合せ 介護課高齢者支援係 (☎ 27 - 5131)

町には認知症地域支援推進員がいます

認知症地域支援推進員は、認知症の方ができる限り住み慣れた環境で暮らし続けられるように、医療・介護・地域の支援機関と連携しています。また、認知症の方や家族に対する支援事業(認知症カフェなど)にも取り組んでいます。

当別町では、地域包括支援センターの職員が認知症地域支援推進員を担い、認知症の方とその家族、地域の人たちに寄り添っています。



認知症地域支援推進員の
北越さん、長井さん、中止さん(左から)

認知症地域支援推進員から

認知症サポーター養成講座や認知症カフェ、認知症初期集中支援チームとしての活動に力を入れており、地域全体での認知症に対する理解を深めることや認知症の方々とその家族が必要とするサービスへ適切に繋げることに取り組んでいます。

認知症の方やその家族を支えるには、医療サービスや介護保険だけではまかないきれません。生活は24時間365日続くので、地域の見守りなどの協力も必要になります。行政や専門職だけの対応ではなく、地域の人たちと協力して、認知症になっても気軽に手を差し伸べられる地域づくりが必要です。

認知症は他の病気と同じで、誰でもなるものです。何か違和感を感じたら私たちに相談してください。

町の認知症を支える取り組み

認知症カフェ

認知症の方やその家族、支援者などが集まってレクリエーションや学習会のほか、悩みを相談する交流会を行っています。

認知症カフェ(Dカフェ)

当別町地域包括支援センター ☎ 25-5152

認知症ふれあいカフェ

当別町社会福祉協議会 ☎ 22-2301

認知症初期集中支援チーム

認知症の方や認知症の疑いのある方を対象に、認知症に関する困りごとや心配ごとなどの相談と、必要な介護サービスへ繋げる支援を、短期間で集中的に行います。

支援は、認知症サポート医(医師)、社会福祉士、保健師など専門職で対応しています。

当別町地域包括支援センター ☎ 25-5152

認知症サポーター

認知症についての正しい知識を持ち、認知症の方やその家族を温かく見守る応援者のことです。養成講座を受講すれば、誰でもサポーターになることができます。

当別町地域包括支援センター ☎ 25-5152

SOSネットワーク事業

行方不明になった高齢者を、警察・消防・町内の協力機関などが連携して速やかに発見・保護し、必要なサービスへ繋げるシステムです。

また、認知症の方の名前や外見の特徴などを事前登録することで、万が一の際に役立てる取り組みやGPS端末機器の貸出しを行っています。

介護課高齢者支援係 ☎ 27-5131

「年齢を重ねても粹に生きていく」を支えるために

認知症介護指導者として活動する「グループホームらくらの家ふとみ」南畑施設長にお話を伺いました。

認知症介護指導者とは

認知症介護指導者とは、地域の認知症ケアの質の向上に向けた教育やアドバイスを行う人のことで、介護施設や事業所に勤める方へ向けた研修や指導を担うことができます。全国的な取り組みであり、道内では約100人の指導者が登録されています。

認知症は誰でもなる病気

認知症は、加齢とともに病気になる確率が高くなります。80歳代前半では約2割の人が認知症になると言われていますが、80歳代後半では約4割、90歳代では約6割となります。認知症に「なるか、ならないか」ではなく、「いつ順番がくるのか」という状況なのです。

少子高齢化が進む日本では、介護の担い手も不足していくでしょうから、今後ますます地域の中で支え合っていくことが大切になっていきます。

認知症と共に生きる

町内会などのコミュニティで支え合いながら、認知症になってもその場で自分らしさを保ち続け、『年齢を重ねても粹に生きていく』ことができるように、地域で支え合える環境を整えていくことが大切です。その環境を準備できるのは私たち専門職を含めた地域の皆さん一人ひとりだと思うのです。

認知症月間に考えて欲しいこと

認知症月間は、認知症について知ること、理解すること、その大切さを伝えるためのものです。特別なことをする必要はなく、認知症や認知症のある世界について知ることが大切です。個人の小さな積み重ねが、やがて多くの人の日常になり、認知症と共に生きる人々を取り巻く環境に奥行きのある世界になっていく、『認知症月間』はそのきっかけです。



認知症介護指導者の南畑さん

認知症月間の取り組み

展示

認知症に関する啓発展示と町内デイサービスや介護施設の利用者の方が作成した作品を展示しています。ぜひ足をお運びください。

9月 2日～13日 当別郵便局
9月 14日～20日 当別町図書館
9月 21日～10月4日 西当別コミュニティーセンター



昨年の展示（西当別コミュニティーセンター）

認知症フォーラム in 当別

- 日 時** 10月6日（日）
10：00～12：00（9：30開場）
- 会 場** 総合保健福祉センターゆとろ 多目的ホール
- 内 容** 第1部 特別講演「認知症の人の食事支援～食べる力を発揮できる環境づくり」（講師：北海道医療大学看護福祉学部長 山田律子教授）
第2部「当別町における認知症に関する活動報告」
- 申 込** 当別町地域包括支援センター
TEL：25 - 5152 FAX：25 - 5159
Mail：toubetsu.houkatsu@houseikai.or.jp
9月30日（月）までにお申し込みください